

こんにちは！日本共産党市会議員 玉本なるみです

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2024年9月①号



気候危機にいかに対策を立て取り組むか！

京都の猛暑日は過去最多！（7、8月で最高気温35度以上の日数）2年連続更新し39日でした。熱中症で搬送される方も増えました。

温暖化の状況から、危機感をもっておられる方は多くなってきていると思います。極力温暖化ガスを出さないように社会が点検していかなくてはなりません。しかし、その速度が遅すぎるのではないのでしょうか。

国も京都市も「温室効果ガスを2050年にはゼロ」にする計画目標を持っています。しかし、それならば、2030年は逆算方式で考えると、60%（2013年度比）には削減すべきだと、日本共産党京都市会議員団は提案しています。しかし、国も京都市も46%としています。

原発や火力発電ではなく、太陽光発電、地熱発電など、再生可能エネルギーによる社会のしくみに変えていかなくてはなりません。

夏に議会の委員会の視察で東京都品川区のエコセンター「エコルとがし」では、マイクロプラスチックを発生させる人工芝をプラスチックではなく「紙の人工芝生」を実験的に屋内で取り入れているとのことでした。また、その施設はペットボトルなどの販売もしておらず、マイボトル持参で水が飲めるようになっていました。大胆な対策が必要です。

車も電気自動車をもっと市民が購入しやすい価格に助成が必要です。



紙の芝生の説明を受ける玉本議員（左端）

スーパーの棚に米が無くなりましたね・・・！

京都市会議員団は、京都市長に対し、「米の不足・価格高騰に対する緊急対策を求める申し入れ」を行いました。

昨年度の不作や一時的な需要の増加などによって、深刻な混乱が発生している背景には、年間77万トンものミニマムアクセス米の輸入を続ける一方で、生産農家に対しては、生産減を押し付けてきた国の米政策に問題があることは明らかです。もうすぐ新米も入ってきますが、価格の値上げがすでに始まっています。市民を不安にさせないように備蓄米の調整など、主食米

としての生産や価格の保障など、国がしっかりと対策を取る必要があります。



トピックス：公職選挙法違反

山科の国民民主党（会派は維新京都国民）の小島市会議員が山科区内の有権者のお宅に初盆のお参りに訪問する際にお菓子を持っていたということがわかり、国民民主党を離党し、党の京都府連の幹事長を辞任。市会の会派も離脱しました。国民民主党代表の玉木衆議院議員は厳しい処分を検討すると言いましたが、結局、本人が離党すれば、終わりでしょうか。国民民主党としての責任はないのでしょうか・・・。明らかに公職選挙法の違反であり、「考えが甘かった」と無所属になれば済むのでしょうか・・・。政治家としての姿勢が問われます。



健康保険証をなぜ、廃止？

アンケート

今年の12月2日（から現行の保険証は廃止になることが決まっています。ただし、後期高齢者医療の保険証はすでに発行されており、来年の有効期限7月31日まで使えます。国民健康保険証は今年の11月に新しいのが発行されたら、来年の11月30日まで使えます。協会けんぽや社会保険証などの保険証は来年12月1日まで使用できます。

ただし、いずれも新規の発行は今年の12月2日以降は発行しなくなります。

でも、心配はいりません。資格確認書」と言っていて、現行の保険証と同じ役割をもつものが、マイナ保険証を持っていない人には交付されますので、マイナ保険証を持っていないと受診はできません。

私は後期高齢者医療の京都広域連合議会の委員をしています。そこで、「マイナンバーカード」は任意であるので、マイナ保険証も任意で、必ず申請しなくてもいいか？と質問したら、その通りだと答弁がありました。

マイナ保険証の有効期限は5年などで更新しないとダメです。期限が切れると利用できなくなっている人が増えてきています。京都市国保は、その場合「資格確認書」を京都市から送るとのことでした。ほんとに、ややこしく、混乱をまねく制度改悪です。

